

2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年11月7日

上場会社名 バルミューダ株式会社 上場取引所 東
コード番号 6612 URL <https://corp.balmuda.com>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺尾 玄
問合せ先責任者 (役職名) 経理・財務部長 (氏名) 松井 卓也 (TEL) 050(3733)9206
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第3四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	8,706	9.4	△238	—	△229	—	△231	—
2023年12月期第3四半期	7,955	△36.3	△1,143	—	△1,029	—	△1,820	—

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 △230百万円(—%) 2023年12月期第3四半期 △1,806百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	△27.32	—
2023年12月期第3四半期	△215.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	5,599	4,041	72.2
2023年12月期	7,803	4,265	54.7

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 4,041百万円 2023年12月期 4,265百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年12月期	—	0.00	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,800	△1.6	30	—	75	—	50	—	5.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年12月期3Q	8,464,400株	2023年12月期	8,443,900株
② 期末自己株式数	2024年12月期3Q	3,172株	2023年12月期	3,167株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年12月期3Q	8,459,956株	2023年12月期3Q	8,430,434株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
 監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結損益計算書関係)	9
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(収益認識関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2024年1月1日～9月30日）の連結業績は、売上高が8,706百万円（対前年同期比9.4%の増加）の増収となりました。営業損失は238百万円（前年同期より905百万円の改善）、経常損失は229百万円（前年同期より800百万円の改善）、親会社株主に帰属する四半期純損失は231百万円（前年同期より1,589百万円の改善）となり、すべての段階において損益が改善しました。売上高については、2023年10月に発売したBALMUDA The Plate Pro（ステンレス ホットプレート）や、同年6月にリニューアルしたBALMUDA The Range（オープンレンジ）、本年2月に発売したReBaker（リベイク機能つきトースター）を含むトースター製品の売上高が前年実績を上回りました。営業損失及び経常損失の改善については、前年から戦略的に取り組んでいる売上総利益率の改善と固定費圧縮が奏功しました。親会社株主に帰属する四半期純損失は、経常損失の改善に加え、前年同期に計上した携帯端末事業の終了決定に伴う特別損失及び繰延税金資産の取崩しに伴う法人税等調整額の影響がなくなったことにより、大きく改善しました。なお、営業損失の計上が続いていることから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象または状況が存在していますが、以下のような対応策を講じ、すでに着手していることから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しています。

当第3四半期連結累計期間においては、物価上昇や前年同期に対する円安ドル高が継続し、当社にとっては厳しい外部環境が続きました。そのような環境下、当連結会計年度の黒字転換実現のため、経営戦略に基づく以下の諸施策を推進しました。

売上総利益率の改善：当社は円安進行に対応し、新製品及び既存製品の製造コストの低減、並びに、適切な価格設定による適正利幅の確保に取り組んでおり、前連結会計年度において、その時々を為替水準を前提に適切な価格設定をした新製品及びリニューアルモデルを発売しました。当第3四半期連結累計期間においても、新製品として「ReBaker」を2月に、「GreenFan Studio（オールシーズンファン）」を4月に発売、加えて、2月にサーキュレーター2機種、3月に電気ケトル、8月にトースター3機種、オープンレンジ、ステンレス ホットプレート、オープンドリップ式コーヒーマーカー及びワイヤレススピーカーの価格改定を実施しました。これらの効果により、当第3四半期連結累計期間の売上総利益率は、円安が進行する中においても前年同期の30.0%から30.9%へと0.9ポイント改善し、売上総利益は前年同期比で304百万円（12.8%）の改善となりました。

固定費の圧縮：当社は、2023年5月に決定した携帯端末事業の終了や昨今の業績を踏まえて、前連結会計年度から組織・人員体制の再構築を推進してきました。その結果、当第3四半期連結累計期間における人件費は前年同期に対して336百万円の減少となりました。その他の経費も効率的な運用を推し進め、当第3四半期連結累計期間における、人件費を含む販売費及び一般管理費は、前年同期比で600百万円（17.0%）の減少となりました。

家電カテゴリー製品の積極的な展開：当社は、新たな体験価値を提供すべく国内外で製品ラインナップを拡大しました。国内においては、独自の温度制御による絶妙な火入れで、手軽に、驚きのおいしさをお届けする「ReBaker」を2月に、革新的で美しい「GreenFan Studio」を4月に、「BALMUDA The Pot（電気ケトル）」の新色シルバーを5月に、「ReBaker」の新色ウーロングレーを9月に発売しました。加えて、第4四半期連結会計期間となる11月には、新製品MoonKettle（温度調整機能つき電気ケトル）、Table Stove（カセットコンロ）を発表しました。

海外においては、韓国で「BALMUDA The Toaster Pro（サラマングー機能つきスチームトースター）」、「BALMUDA The Plate Pro」、「GreenFan Studio」及び「ReBaker」を発売しました。中国では「BALMUDA The Range」を、台湾では「BALMUDA The Toaster Pro」、「BALMUDA The Plate Pro」を、香港では「BALMUDA The Range」を、タイでは「BALMUDA The Brew（オープンドリップ式コーヒーマーカー）」を発売しました。

これらの諸施策を推進した結果、前述の通り、売上高、各段階損益ともに前年同期比で改善しました。

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前期差	前期比(%)
売上高	7,955	8,706	750	9.4
営業損失(△)	△1,143	△238	905	—
経常損失(△)	△1,029	△229	800	—
親会社株主に帰属する 四半期純損失(△)	△1,820	△231	1,589	—

地域別では、主力製品カテゴリーであるキッチン関連の新製品及びリニューアルモデルを継続的に投入したことにより、日本、韓国、その他地域において売上高が伸長しました。

(単位：百万円)

地域別売上高	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前期差	前期比(%)
日本	5,520	5,626	106	1.9
韓国	1,302	1,742	439	33.8
北米	410	401	△9	△2.2
その他	722	936	213	29.6
合計	7,955	8,706	750	9.4

製品カテゴリー別では、前述の要因により、主力製品カテゴリーであるキッチン関連の売上高が前年同期に対して22.4%増加しました。

(単位：百万円)

製品カテゴリー別売上高	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前期差	前期比(%)
空調関連	1,673	1,669	△3	△0.2
キッチン関連	5,282	6,466	1,183	22.4
携帯端末関連	2	—	△2	△100.0
その他	996	570	△426	△42.8
合計	7,955	8,706	750	9.4

なお、当社グループは家電事業のみの単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しています。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結累計期間末における資産合計は5,599百万円となり、前連結会計年度末と比べて2,204百万円減少しました。

流動資産は4,846百万円(前連結会計年度末比2,047百万円減)となり、これは主に売掛金が1,398百万円、商品及び製品が1,000百万円減少したことによるものです。固定資産は752百万円(前連結会計年度末比157百万円減)となり、これは主に製品の金型に係る償却等によるものです。

(負債)

当第3四半期連結累計期間末における負債合計は1,557百万円となり、前連結会計年度末と比べて1,980百万円減少しました。

流動負債は1,465百万円(前連結会計年度末比1,743百万円減)となり、これは主に買掛金が815百万円、未払金が236百万円、短期借入金が500百万円減少したことによるものです。固定負債は91百万円(前連結会計年度末比236百万円減)となり、これは長期借入金が236百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結累計期間末における純資産合計は4,041百万円となり、前連結会計年度末と比べて224百万円減少しました。これは主に利益剰余金が231百万円減少したことなどによるものです。なお、当第3四半期連結累計期間に減資を実施し、資本金1,336百万円をその他資本剰余金に振り替えています。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の連結業績予想については、2024年12月期第2四半期(中間期)決算発表時に公表した内容から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,167	1,502
売掛金	2,423	1,025
商品及び製品	2,629	1,629
原材料及び貯蔵品	312	314
その他	359	374
流動資産合計	6,893	4,846
固定資産		
有形固定資産	632	525
無形固定資産	203	161
投資その他の資産	73	65
固定資産合計	909	752
資産合計	7,803	5,599

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,123	308
短期借入金	600	100
1年内返済予定の長期借入金	514	362
未払金	458	221
賞与引当金	61	14
製品保証引当金	292	232
事業整理損失引当金	16	12
その他	142	213
流動負債合計	3,209	1,465
固定負債		
長期借入金	328	91
固定負債合計	328	91
負債合計	3,537	1,557
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,423	90
資本剰余金	1,420	2,759
利益剰余金	1,409	1,178
自己株式	△0	△0
株主資本合計	4,252	4,026
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	13	14
その他の包括利益累計額合計	13	14
純資産合計	4,265	4,041
負債純資産合計	7,803	5,599

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上高	7,955	8,706
売上原価	5,570	6,016
売上総利益	2,385	2,689
販売費及び一般管理費	3,528	2,928
営業損失(△)	△1,143	△238
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	0	0
為替差益	132	15
雑収入	3	2
営業外収益合計	136	19
営業外費用		
支払利息	12	9
開業費償却	7	—
雑損失	1	0
営業外費用合計	21	9
経常損失(△)	△1,029	△229
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除却損	5	—
事業整理損	532	—
特別損失合計	538	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,567	△229
法人税、住民税及び事業税	2	2
法人税等調整額	251	—
法人税等合計	253	2
四半期純損失(△)	△1,820	△231
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,820	△231

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期純損失(△)	△1,820	△231
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	13	1
その他の包括利益合計	13	1
四半期包括利益	△1,806	△230
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,806	△230

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

2024年3月22日開催の定時株主総会決議により、会社法第447条第1項の規定に基づき、2024年5月15日付で資本金を1,336百万円減少し、その他資本剰余金へ振り替えています。なお、株主資本の合計金額への影響はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

(事業整理損)

前第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

携帯端末事業の終了決定に伴い、携帯端末事業に係る固定資産の減損損失293百万円を含む、携帯端末事業の終了によって見込まれる費用532百万円を「事業整理損」として特別損失に計上しています。

減損損失の内容は次のとおりです。

場所	用途	種類
本社(東京都武蔵野市)	事業用資産(携帯端末事業)	ソフトウェア等

当社グループは、事業用資産については、製品群を単位としてグルーピングを行っています。

事業用資産については帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額293百万円を「事業整理損」として特別損失に計上しました。その主な内訳は、ソフトウェア187百万円、工具、器具及び備品73百万円です。

なお、当資産グループの回収可能価額は使用価値により測定しており、使用価値については、将来キャッシュ・フローが見込まれないため、工具、器具及び備品は備忘価額の1円、ソフトウェア等無形固定資産はゼロとして評価しています。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループの事業セグメントは、家電事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しています。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費含む)は、以下のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	368 百万円	297 百万円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当社グループは、家電事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略していますが、顧客との契約から生じる収益を分解した情報は以下のとおりです。

1. 地域別の内訳

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
日本	5,520	5,626
韓国	1,302	1,742
北米	410	401
その他	722	936
顧客との契約から生じる収益	7,955	8,706
その他の収益	—	—
外部顧客の売上高	7,955	8,706

2. 製品カテゴリー別の内訳

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
空調関連	1,673	1,669
キッチン関連	5,282	6,466
携帯端末関連	2	—
その他	996	570
顧客との契約から生じる収益	7,955	8,706
その他の収益	—	—
外部顧客の売上高	7,955	8,706